

栃木県知事 福田富一様

2015年8月31日

日本共産党栃木県委員会
委員長 小林年治
日本共産党栃木県議団
代表 野村せつ子

米軍機の超低空飛行訓練について 徹底調査と事前通知を要請するよう求める申し入れ

8月24日と25日の夕方から夜にかけて、米軍機と見られる航空機が超低空で飛行しているのを多数の県民が目撃し、下野新聞でも25日、26日に報道されました。日本共産党県委員会にも、鹿沼市と宇都宮市から目撃情報が寄せられました。轟音や急旋回、「落ちるのではないかと思った」というほどの超低空飛行など、異常な飛行訓練に県民は不安を訴えています。日本共産党が得た情報では、米軍横田基地に飛来している特殊作戦機（MC-130）による訓練ではないかと思われます。

かねてから日本共産党は貴職にたいし、米軍横田基地所属のC130輸送機等の航空機が栃木県上空で低空飛行訓練を行っていることについて、再三申し入れを行い、防衛省北関東防衛局が「自治体から要請があれば訓練計画についてメールで通知する」との対応をとっていることも示してきました。6月臨時議会の一般質問でも米軍横田基地の飛行訓練問題を取りあげました。しかるに県として米軍への抗議はもとより、実態把握もせずに放置してきました。今回のように県民が恐怖を感じるような訓練を放置することは許されません。県としてただちに防衛省北関東防衛局を通じて下記の対応をとるよう強く求めます。

記

1. 今回の訓練について説明するよう米軍に求めること。
2. 栃木県上空での米軍機の低空飛行訓練を行わないよう求めること。
3. 今後の米軍機による訓練日程等を事前に栃木県関係部局にメールで通知するよう求めること。県はその情報を公開すること。

以上